

CCDOPS_**.exe の設定手順 (β-SGR シリーズ用)

■ファイルのコピー:

CCDOPS_J*.exe をご使用 PC の任意のフォルダにコピーしてください。

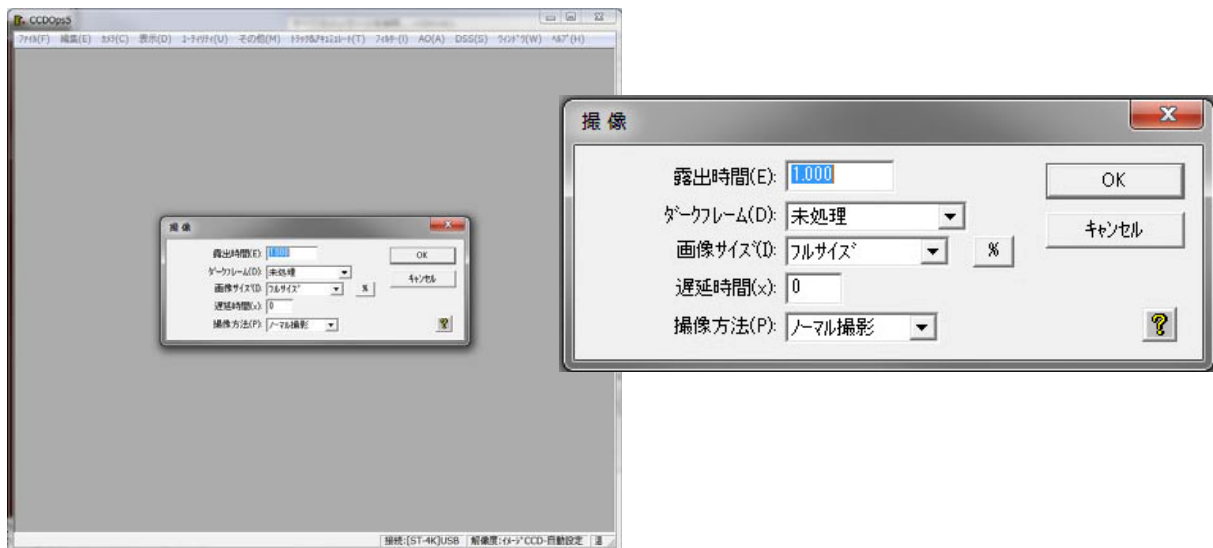
CCDOPS の英語版を日本語環境でご使用の場合は、CCDOPS_E*.exe をご使用ください。

説明:この撮影マクロ(CCDOPS_**.exe)は、CCDOPS の撮像操作～保存操作までを自動で行います。

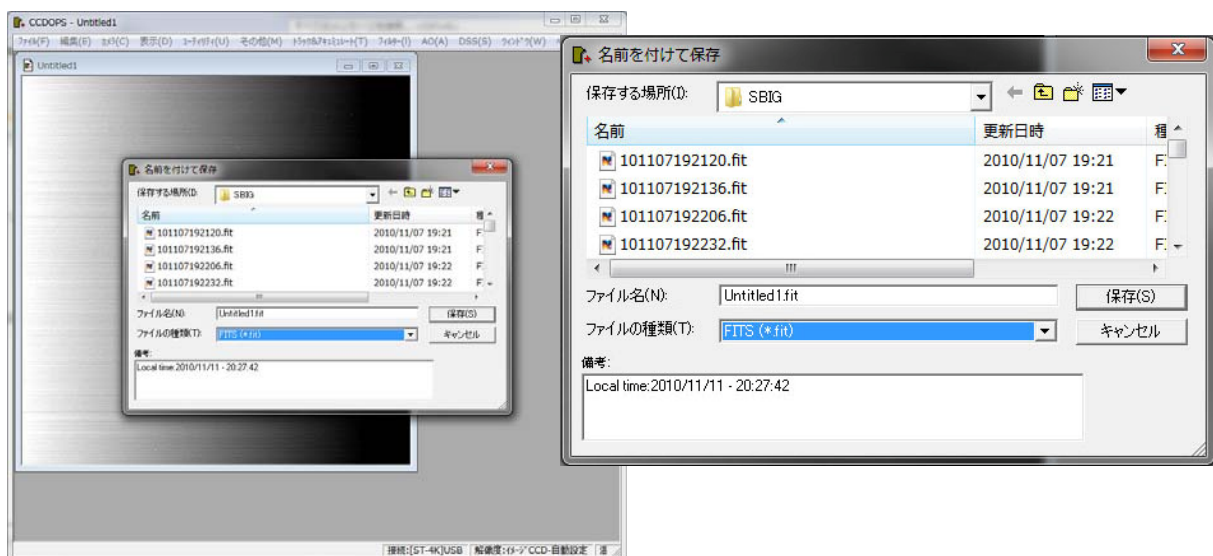
■CCDOPS の起動とテスト撮影及び保存:

※以下、日本語版で説明いたしますので、英語版でご使用の場合は、CCDOPS_E*.exe と読み替えてください。

① CCDOPS を起動していただき、フォーカス時の露出時間等を設定し、テスト撮影(空切り)をします。



② 撮影された画像をフォーカス評価用のフォルダに保存します。

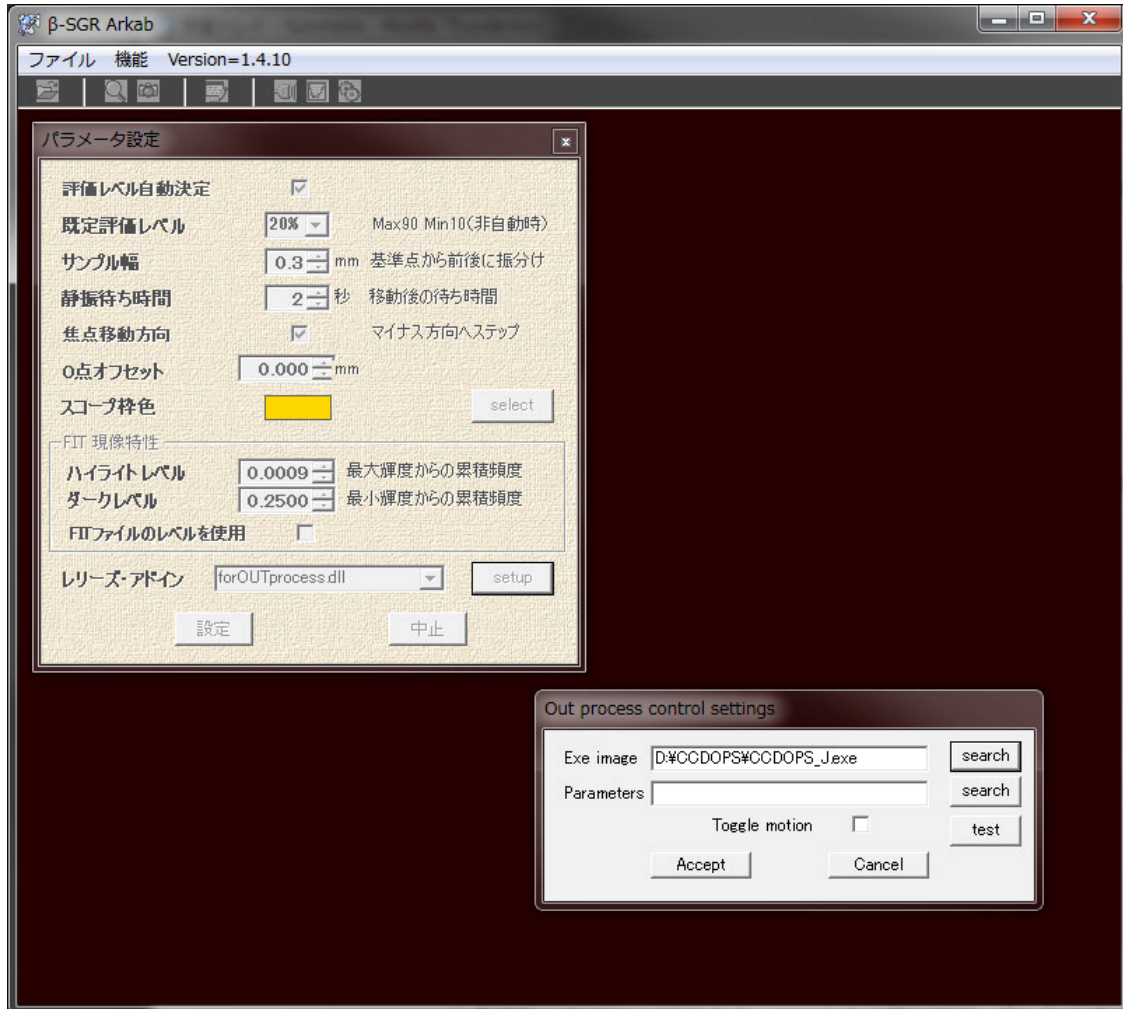


**注)お願い: 保存していない画像は、表示したままにしないようにお願いします。
次のプロセスでエラーが出ますので、**

■ CCDOPS_**.exe 設定手順:

これは、β-SGR から撮影シーケンスを使って自動撮影する設定です。

- ① β-SGR の“パラメータ設定”を開き、リリースアドインの“forOUTprocess.dll”を選択してください。
- ② リリースアドインの“setup”ボタンを押して、“Out process control settings”を開きます。
- ③ “Out process control settings”の“search”ボタンを押して、前に保存したフォルダ及び“CCDOPS_J1.exe”を選択してください。
- ④ “Out process control settings”の“test”ボタンで、自動撮影が、実施されることを確認します。
- ⑤ “Out process control settings”の“Accept”で閉じます。



- ⑥ “パラメータ設定”の“設定”ボタンを押して閉じます。
- ⑦ 電動フォーカス I/F を開き、自動操作パネルの“リリース”又は“撮影”を押します。

★この操作によって、β-SGR からの連携撮影が可能になります。

これによって、テスト撮影したフォルダに画像を年月日時分秒のファイル名で自動保存します。

この撮影マクロ(CCDOPS_**.exe)は、CCDOPS の撮像操作～保存操作までを自動で行います。

以上です。